



# 3Rの国際的な推進のための取組

---

平成22年12月9日  
外務省



# 我が国外交上の環境問題の位置づけ

---

- 我が国外交上の重要課題の一つと位置づけ。
- 主要国との二国間、多国間会談等の機会に気候変動問題や生物多様性保全を始めとする環境分野での協力等につき意見交換。
- 国際的なルール・枠組みづくりやODAを通じた開発途上国支援により地球環境問題の解決に努力。



# 首脳会談等における3Rの扱い (平成21年11月以降)

---

## ○ 第3回日中韓サミット(平成22年5月、於:済州(韓国))

平成22年5月の第12回日中韓三か国環境大臣会合において3Rを含む協力優先10分野に関する行動計画が採択されたことを歓迎し、この計画の実現に向けて協力を進めていくことで一致。

【環境協力に係る日中韓三か国共同行動計画(仮訳)関連部分】

### 6. 環境にやさしい社会/3R/循環型社会

(目的)三か国は、環境にやさしい社会/3R/循環型社会の形成に向けて、政策形成及び技術協力に関する協力を強化する。

(行動)三か国は、循環型社会/循環経済/3Rに係る三か国セミナーによる政策協議や、日中韓3R情報共有システムの構築を引き続き推進し、3Rのベスト・プラクティスや知見を共有する。

## ○ 第3回日中ハイレベル経済対話(平成22年8月、於:北京)

廃棄物などの環境汚染対策の協力の進捗を評価し、一層の推進を確認。

## ○ 第2回日本・メコン地域諸国首脳会議(平成22年10月、於:ハノイ)

「緑あふれるメコン(グリーン・メコン)に向けた10年」イニシアティブに関する行動計画の中で循環型社会構築のために、ベトナムに対して3Rの取り組みの強化にかかる支援を行うことを明記。



## 国際協力

---

- (独)国際協力機構(JICA)において技術協力分野を中心にプロジェクトを実施。
- 専門家派遣、国別研修の実施、機材供与などを通じて、ゴミの分別収集の実施、ゴミ収集システムの改善、住民意識向上、政府の行動計画策定への協力を進め、廃棄物管理の改善、循環型社会の形成を目指す。
  - 平成21年度: フィリピン、ベトナム、中国、フィジー、メキシコ、キューバ
  - 平成22年度: マレーシア、ベトナム、インドネシア、大洋州(11か国)

## 国際協力（具体的支援例）

- 「フィジー国廃棄物減量化・資源化促進プロジェクト」  
（平成20年10月～平成24年3月）

### 活動（短期専門家派遣及び機材供与等）

ラウトカ市及びナンディ町における廃棄物管理計画の作成。  
3Rの促進及びラウトカ処分場の一部改善を目的とするパイロット・プロジェクトの実施。

ラウトカ市・ナンディ町全域を対象とする3R推進活動の実施。  
環境教育教材・プログラムを活用した住民等の意識向上。

### プロジェクト実施による成果

ラウトカ市及びナンディ町における廃棄物管理計画の完成。  
パイロット・プロジェクトを通じた適切な廃棄物管理能力の獲得。  
3Rの実施を通じた3R推進能力の獲得。  
環境教育活動を通じた住民意識の向上。



写真提供：JICA

➡ 今後、3Rの取組を大洋州地域に拡大していく予定。